

令和2年12月15日

令和2年度病害虫発生予報第9号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
きゅうり	べと病	並	並
	うどんこ病	やや少	やや少
	褐斑病	やや少	やや少
	ミナミキイロアザミウマ	やや少	やや少
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	並	並
	コナジラミ類	並	並
	ハモグリバエ類	少	少
レタス	灰色かび病	並	並
	菌核病	並	並
たまねぎ	ネギアザミウマ	並	並
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	やや少	やや少
	ハダニ類 (注意報第12号継続)	多	多
ブロッコリー	黒腐病	並	並
	べと病	並	並
	コナガ	やや多	やや多

【発生予報】 本文の ( ) 内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(10筆)の結果、発病葉率は5.4%(0.3%)、発生圃場率は20.0%(13.6%)であった。一部で発生の多い圃場が見られた。

2. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(10筆)の結果、発病葉率は1.6%(4.2%)、発生圃場率は40.0%(38.5%)であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(10筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.1%、

発生圃場率 1.1%)。

#### 4. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(10筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率0.7%、発生圃場率12.0%)。

#### 5. コナジラミ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(10筆)の結果、寄生葉率は0.7%(0.5%)、発生圃場率は10.0%(20.1%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 密度が高くなると防除が困難になるので発生初期に防除する。

イ タバココナジラミは退緑黄化病の病原ウイルス(CCYV：ウリ類退緑黄化ウイルス)を媒介するので、防除を徹底する。

ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統(令和2年長崎県病害虫防除基準 P156~159の「作用機構による分類(IRAC)」参照)の薬剤を連用しない。

トマト

#### 1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発病株率は0.1%(0.1%)、発生圃場率は9.1%(12.8%)であった。

#### 2. コナジラミ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、寄生葉率は1.5%(0.9%)、発生圃場率は36.4%(31.8%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 黄色粘着板等で本虫の発生状況を把握し、防除に努める。

イ タバココナジラミは黄化葉巻病の病原ウイルス(TYLCV)を媒介するので、防除を徹底する。

ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統(令和2年長崎県病害虫防除基準 P184~187の「作用機構による分類(IRAC)」参照)の薬剤を連用しない。

エ 하우스内の雑草は本虫の発生源になるので除去する。

オ マルハナバチの導入圃場では影響の少ない薬剤を使用する。

#### 3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容：発生程度 少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(被害葉率0.3%、発生圃場率7.4%)。

## レタス

### 1. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（15筆）の結果、発生を認めなかった（過去10か年平均発病株率0.0%、発生圃場率0.7%）。

### 2. 菌核病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（15筆）の結果、発病株率は0.1%（0.2%）、発生圃場率は33.3%（21.0%）であった。

## たまねぎ

### 1. ネギアザミウマ

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（16筆）の結果、寄生株率は2.5%（5.9%）、発生圃場率は25.0%（38.8%）であった。

## いちご

### 1. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（26筆）の結果、葉での発生を認めなかった（発病株率0.0%、発生圃場率0.5%）。また、果実での発生も認めなかった（発生を認めない）。

### 2. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（26筆）の結果、発病果率は0.0%（0.1%）、発生圃場率は15.4%（10.7%）であった。

### 3. アブラムシ類

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（26筆）の結果、寄生株率は1.0%（1.5%）、発生圃場率は11.5%（17.3%）であった。

### 4. ハダニ類

令和2年12月2日付け**病害虫発生予察注意報第12号**による。

なお、その後の発生状況等については以下のとおりである。

(1) 発生状況等

12月前期の巡回調査（26筆）の結果、寄生株率は10.4%（4.7%）、発生圃場率は53.8%（34.0%）であった。

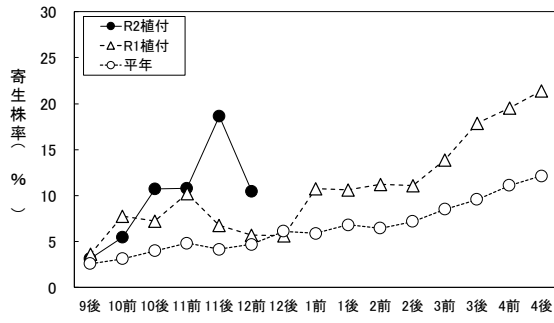


図 いちご ハダニ類 寄生株率

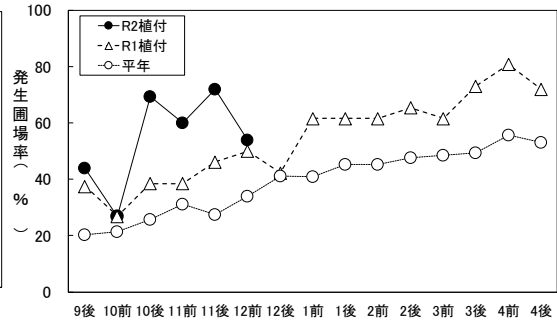


図 いちご ハダニ類 発生圃場率

## ブロッコリー

### 1. 黒腐病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（12筆）の結果、発病株率は0.5%（0.8%）、発生圃場率は16.7%（11.5%）であった。

### 2. ベと病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（過去10か年平均発病株率0.0%、発生圃場率1.7%）。

### 3. コナガ

(1) 予報内容：発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（12筆）の結果、寄生株率は11.7%（4.3%）、発生圃場率は58.3%（43.3%）であった。

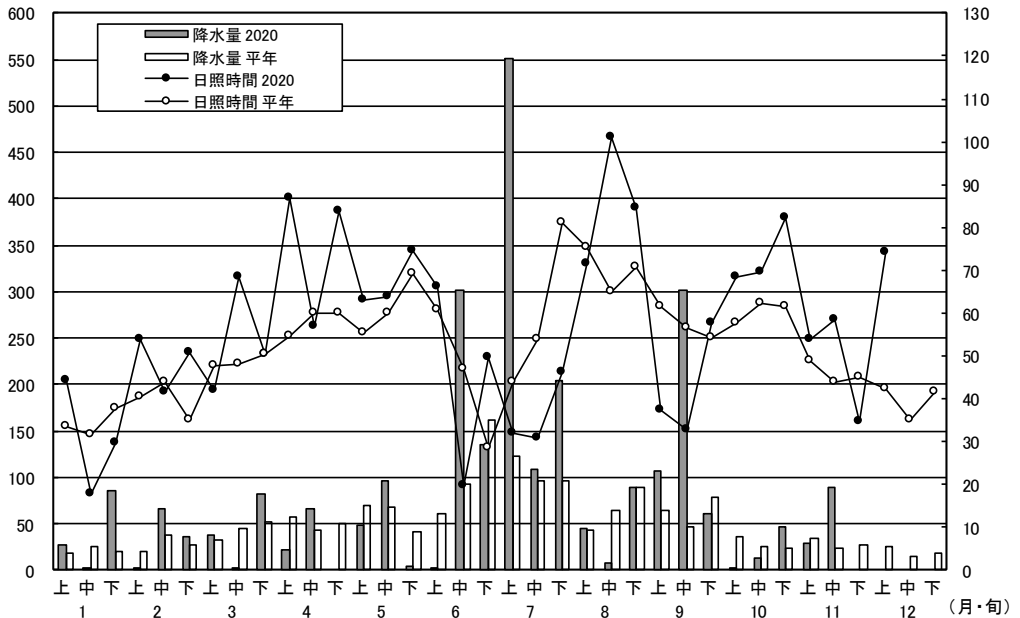
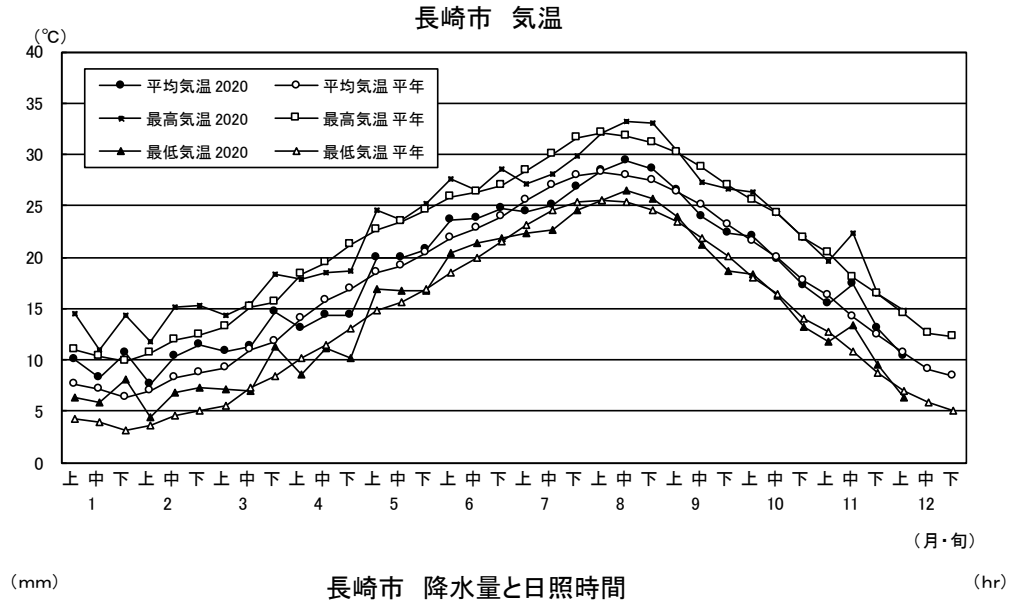
【参考】

(令和2年12月10日発表 1か月予報 福岡管区気象台)  
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	40	40	20
降水量	30	40	30
日照時間	40	30	30

※予報対象地域：九州北部地域

令和2年の気象経過 (長崎地方気象台)



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

